

ワーキング会議検討結果

<教 育>

- 第1回ワーキング会議検討結果 2
- 第2回ワーキング会議検討結果 9

■第1回ワーキング会議検討結果（ワークショップ成果報告）

「教育の原点探しワークショップ」実施概要結果

1. ワークショップ開催主旨とテーマ

本プランニング・ワークショップは、第2回教育振興基本計画策定委員会でのご指摘を踏まえ、「阿見町らしさ(教育の原点)」を包含した「基本理念」を再構築するため、検討部会の下部組織となるワーキング会議で開催しました。ワーキング会議については、生涯学習推進計画と同時開催しました。

ワークショップのテーマは、「教育の原点探しワークショップ」として、教育の原点であるマインド・アイデンティティを探ることから、教育振興基本計画の「基本理念」及びスローガンを導き出すワークショップを実施しました。



2. 実施日時

日 程:令和4年5月12日(木) 13時30分~16時00分

場 所:阿見町中央公民館 公民館学習室C

3. 参加者

教育振興グループ：野呂委員、事務局（飯村課長・飯塚補佐・大澤主任・菅澤氏）、コンサル2名

4. 全体タイムスケジュール

タイムスケジュール

時間	配分	内容	担当
13時30分	(5分)	開催あいさつ	学校教育課 飯村課長
13時35分	(5分)	ワークショップの進め方について	E C O
13時40分	(50分)	ワークA 「マンダラチャート（マンダラート）で阿見町の教育の要素を探る」	ファシリテーター：コンサル
14時30分	(10分)	休憩	
14時40分	(45分)	ワークB 「スローガンをブラッシュアップ」	ファシリテーター：コンサル
15時25分	(5分)	休憩	
15時30分	(20分)	情報共有（生涯学習グループと共有）	各担当課 大澤主任 佐野主事・小松原補佐
15時50分	(5分)	終了あいさつ	生涯学習課 木村課長

【グループワークA】 マンダラチャート（マンダラート）で阿見町の教育の要素を探る

・STEP1 「教育」から連想するキーワード出し

進め方①

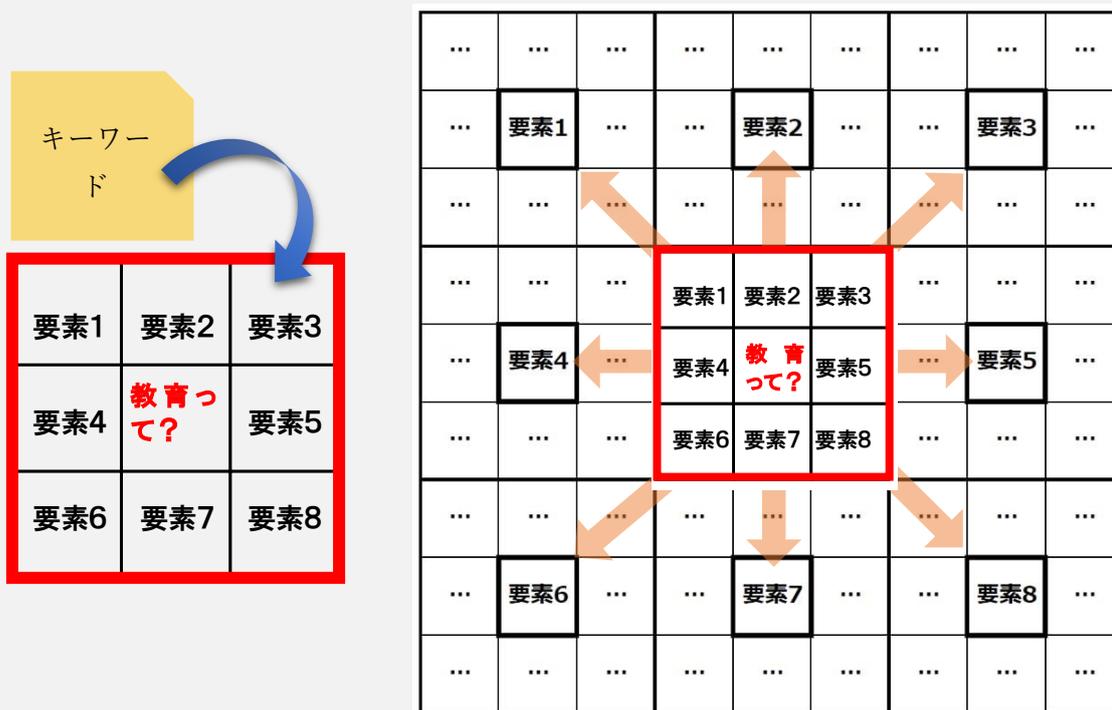
STEP1 中心にある「教育って？」の教育から連想するキーワードを付箋に書き出します。

ワーク① 事前に記入いただいた要素(キーワード)を発表しながら中心に貼っていきます。

さらに、追加のキーワードがあれば黄色の付箋に記入して追加していきます。

最終的に最大で8つの要素(キーワード)に絞り込み、周辺の8つの枠の中心に要素を移動します。

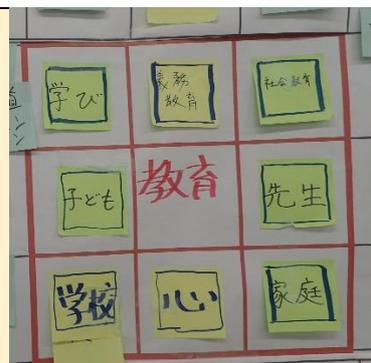
阿見町の教育の原点を探るマンダラート



STEP1の検討結果

【「教育」から連想される8つのキーワード】

- | | |
|-------|------|
| ①学び | ⑤家庭 |
| ②義務教育 | ⑥心 |
| ③社会教育 | ⑦学校 |
| ④先生 | ⑧子ども |



ワークシート（拡大）

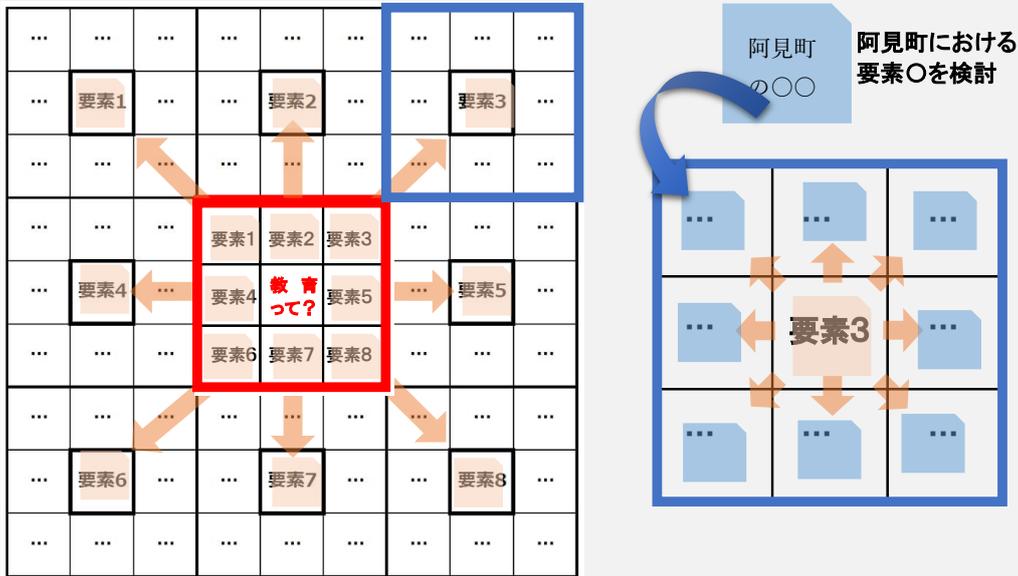
• STEP 2 「教育」から連想されるキーワードから連想される「阿見町の〇〇」

進め方②

STEP2 阿見の教育の原点、マインド・アイデンティティを出していきます。

ワーク① 教育から連想されたキーワード(外側の8つの枠)を中心とした「阿見町の〇〇」を考え、青色の付箋に書き出していきます。

要素1のキーワードから連想する「阿見町の〇〇」に関連する言葉を記入していきます。
要素1～要素8のシートを埋めていきます。すべてが埋まらなくてもよいです。

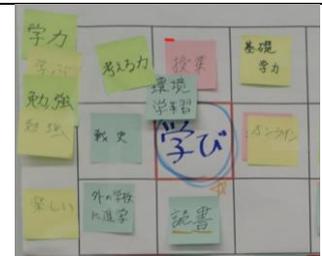


STEP 2の検討結果「阿見の教育の原点」

【①阿見町の学び】

- ・考える力
- ・授業 環境学習
- ・基礎学力
- ・オンライン

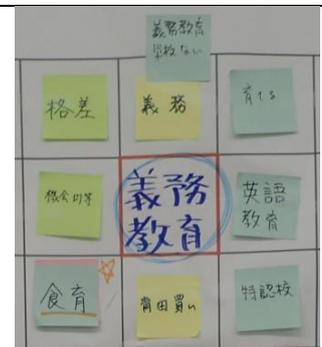
- ・読書
- ・外の学校に進学
- ・戦史



【②阿見町の義務教育】

- ・格差
- ・義務教育学校ない
- ・育てる
- ・英語教育

- ・特認校
- ・青田買い
- ・食育
- ・機会均等



【③阿見町の社会教育】

<ul style="list-style-type: none"> ・交流(人) ・一生涯 ・コミュニティスクール 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習(スポーツ、学習) ・ふれあい地区館 	
---	--	--

【④阿見町の先生】

<ul style="list-style-type: none"> ・アットホーム ・異動希望 多 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員 多 	
--	--	--

【⑤阿見町の家】

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育 ・会話 ・絆(コミュニティの希薄化) ・しつけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂 ・ヤングケアラー、8050 問題 ・育ち ・地域力の低下、面談、消防団 	
--	---	--

【⑥阿見町の心】

<ul style="list-style-type: none"> ・平和教育 ・心を育む教育 ・ゆとり ・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ ・情操教育 ・不登校多・不登校支援・取り残さない ・命を大切 	
---	---	--

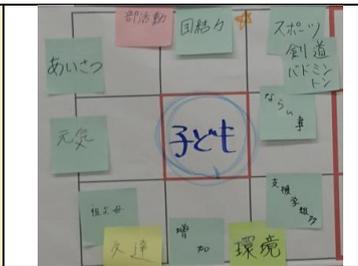
【⑦阿見町の学校】

<ul style="list-style-type: none"> ・通学 ・行事 ・学ぶところ ・教育環境・教室不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・校則 ・教科書 ・子供会・加入率高 	
--	--	--

【⑧阿見町の子ども】

- ・あいさつ
- ・団結力
- ・スポーツ 剣道 バトミントン
- ・ならい事

- ・支援学級 多
- ・環境 増加
- ・祖父母
- ・元氣



ログループワークA 検討シート

5月12日
教育グループ
野呂 誠 飯村 謙 長
大津 生 佐 飯塚 裕 佐
菅 澤 女

阿見町の教育の原点を探るマンダラート

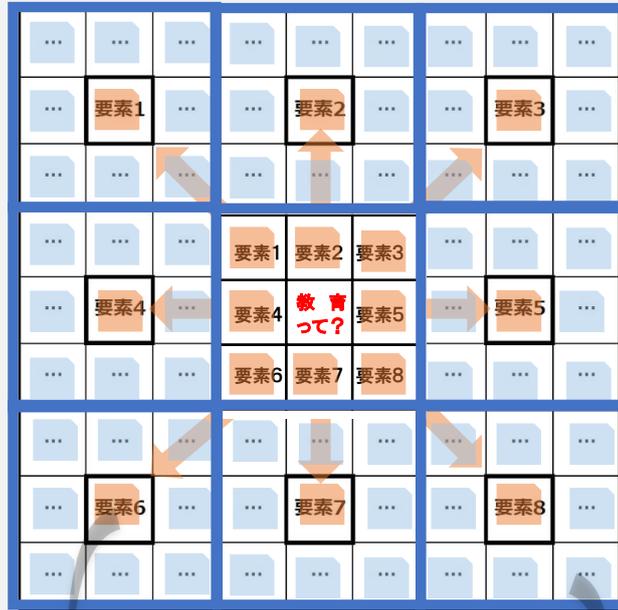
学力 学ぶ 勉強 勉強	考え力 授業 環境 学習	基礎 学力	格差	義務 教育	英語 教育	交流 (人)	生涯	
楽しい	戦史 外へ学校 に進学	学び	機会均等	義務 教育	英語 教育	小水 地区館	社会 教育	コミュニ スクール (課題)
あいさつ	部活動 団結力	スポーツ 剣道 バトミントン	学び	義務 教育	社会 教育	アトホーム	先生	教師 先生 先生
元氣	子ども ならい事	子ども 教育	子ども 教育	先生	先生	先生	先生	先生
祖父母	交流 増 環境	学校	心	家庭	支援 員 等			
通学 行事	学校	平和 教育	心	心	家庭 教育	会話	絆	コミュニ ケーション
平和	子ども 云	学校	命の 大切	心	支援	地域 交流	学び	
人口 率 高	教科書	校則	不登校 多	情緒 教育	受け 入れ	育ち 財	8050	子ども 会堂

• STEP3 阿見町らしい教育において、欠かせない要素出し

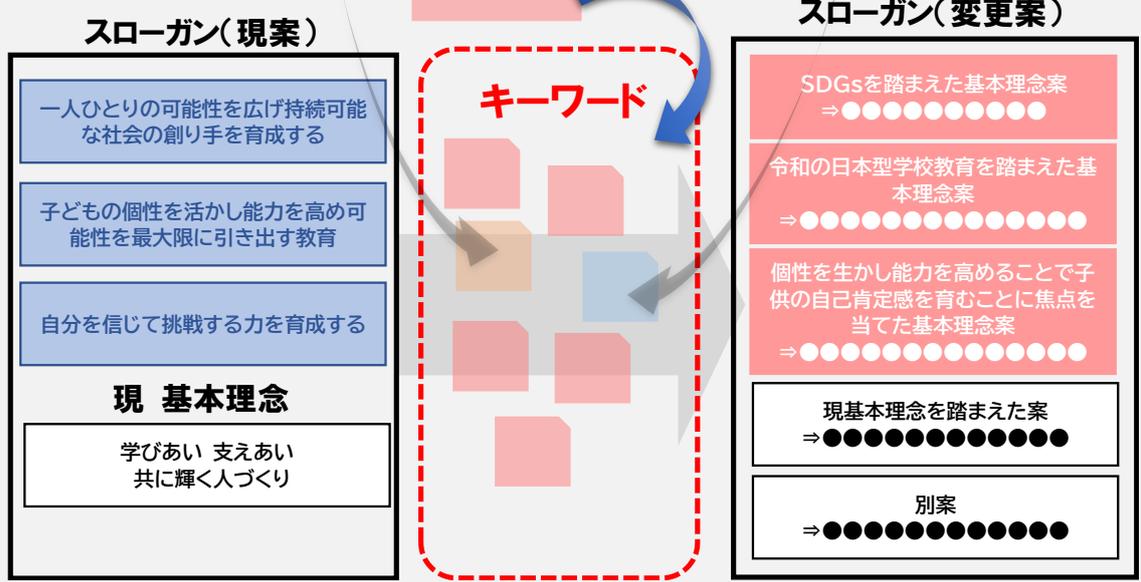
進め方③

STEP3 阿見町らしい教育において、欠かせない要素を出していきます。

ワーク① 阿見町らしい教育において、欠かせない要素をマンダラートをみながらピンク色付箋に書き出します。



阿見町らしい教育において、欠かせない要素



STEP 3の検討結果「阿見町らしい教育に欠かせない要素」

<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ ・読書 ・食育 ・自ら発見する力 ・地域・あいさつ・家族愛 ・未来に向けてたくましく生き抜く力を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・心を育む・心豊かな ・負けない心・大切な心 ・生きる力 ・命を大切・支える力・取り残さない ・情操教育＞学力向上
---	---

STEP 4 スローガンをブラッシュアップ

進め方④

STEP4 スローガンをブラッシュアップします。

ワーク① 阿見町らしい教育において、欠かせない要素(キーワード)を参考にスローガン(現案)に付加し、**3つの案をブラッシュアップ**します。

STEP 4の検討結果「スローガンの見直し」

阿見町の教育(欠かせない要素)は、「地域」や「心(豊かな・心を育む)」、「命を大切・支える力」などの「心」や「人間力」を育てる情操教育が大切であるという結論から、現計画の基本理念である「**学びあい 支えあい 共に輝く人づくり**」を基本とすることとなりました。

「学びあい」の中にも、生きる力や自分を信じてチャレンジ(挑戦)する力が含まれており、「支えあい」の中にも、命を大切・支える力・誰一人取り残さない(SDGs)が含まれている。「共に輝く人づくり」については、情操教育の大切さを踏まえて「共に輝く」を「心を育む」に変更してもよいのではないか などの意見がありました。

SDGsの視点や令和の日本型学校教育の視点については、これからの教育にとって必要不可欠な要素であるため、基本理念の考え方の中で整理することとしました。

□グループワークB 検討シート

The worksheet is titled "スローガン検討シート" (Slogan Review Sheet) and is divided into three main columns:

- スローガン(原案)** (Original Slogan): Contains three boxes for "SDGsを踏まえた基本理念案" (Basic concept case based on SDGs), "令和の日本型学校教育を踏まえた基本理念案" (Basic concept case based on current Japanese-style school education), and "現基本理念" (Current basic concept). The current concept is "学びあい 支えあい 共に輝く人づくり".
- 阿見町らしい教育に欠かせない要素** (Essential elements of education in Ameyama): A central area with a dashed border containing "キーワード" (Keywords). It is populated with handwritten pink sticky notes: "読書", "食育", "チャレンジ", "地域", "あいさつ", "家族愛", "生きる力", "心を育む", "命を大切", "支える力", "負けない心", "情操教育", "学力向上", and "5-75".
- スローガン(変更案)** (Revised Slogan): A column on the right with four empty boxes for "SDGsを踏まえた基本理念案", "令和の日本型学校教育を踏まえた基本理念案", "個性を生かし能力を高めることで子供の自己肯定感を育むことに焦点を当てた基本理念案", and "現基本理念を踏まえた案". There is also a "別案" (Alternative case) box at the bottom.

■第2回ワーキング会議検討資料

1. 開催主旨

第1回ワーキングで検討した基本理念案をもとに、基本構想にもとづく基本方向や基本方針、具体的施策の検討を行うとともに、阿見町らしい教育の視点にたった重点事項について検討するためにワーキング会議を実施しました。



2. 実施日時

- ・日 程:令和4年6月28日(火) 10時00分～12時00分
- ・場 所:阿見町中央公民館 3階第二会議室

3. 出席者

- ・出席者:学校教育課 飯村課長・飯塚補佐・大澤主任 / 指導室 野上氏 / コンサル2名

4. 協議事項

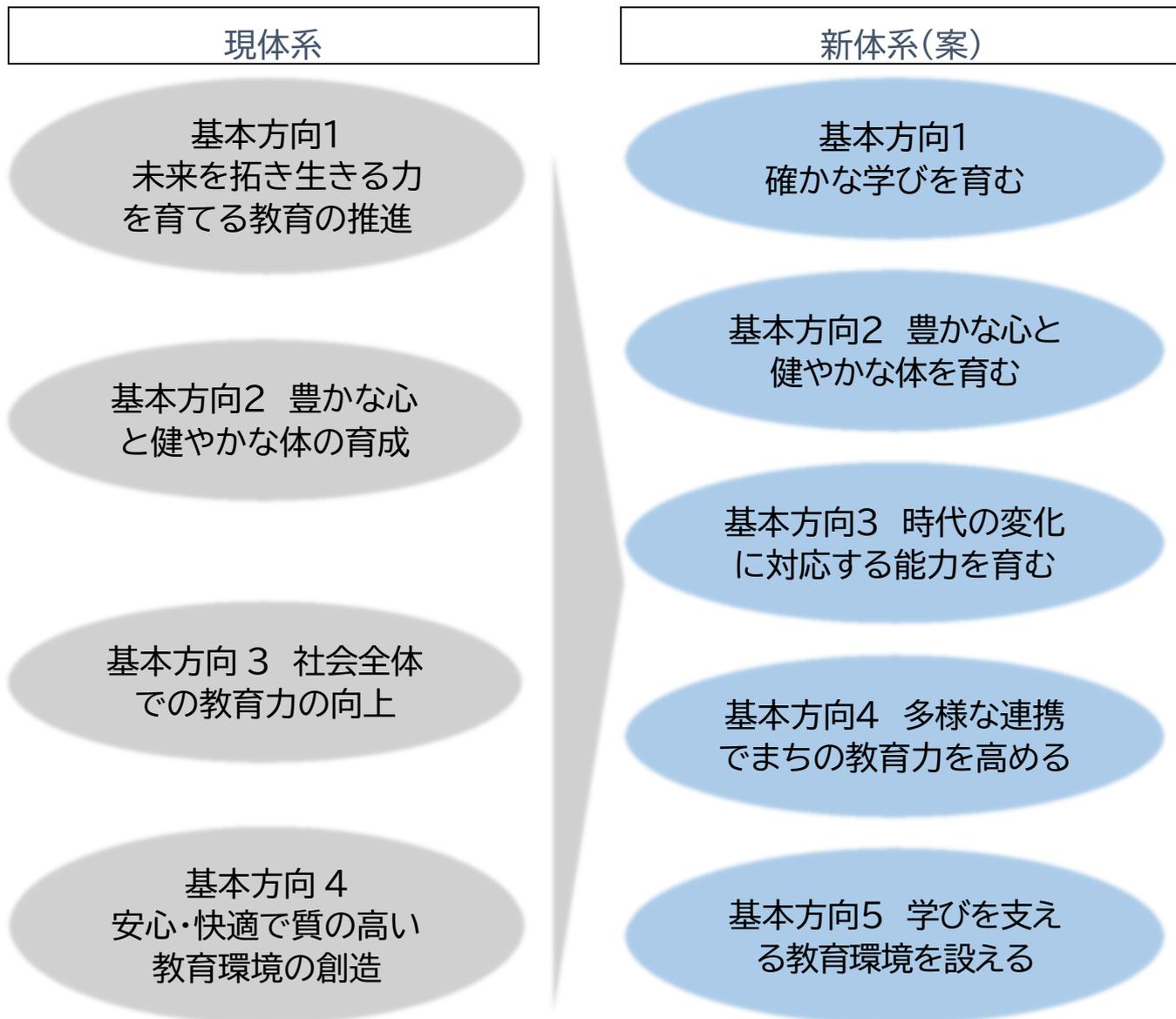
STEP1 施策の体系の検討(1時間15分程度)

- ・ワーク① 基本方向を考える
- ・ワーク② 基本方針と具体的施策を考える

STEP2 重点事項の検討(45分程度)

- ・ワーク① 阿見町らしい教育の視点にたった重点事項

1. 基本方向の整理



近年の阿見町の教育を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などにより、教育・学習における ICT 化が GIGA スクール構想などにより急速に推進されました。

このような急激な時代の変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を豊かなものしていく能力の育成は、国や県、阿見町においても求められる要素であります。また、教職員の長時間労働是正の取組は急務となっており、勤務時間管理や業務の明確化・適正化、教職員定数の改善充実などに加え、部活動指導員・外部人材の配置拡充など、これまで以上に家庭や地域社会との連携・協働が重要となると考えます。

以上のことから、これまでの4章構成の基本的方向に、「時代の変化に対応する能力を育む力」を追加し、「家庭・地域・学校の連携」を強調した基本的方向に変更しました。

- ・第1章・第2章で“知・徳・体”のバランスのとれた生きる力を育み
- ・第3章で時代の変化に対応する能力を育み
- ・第4章で多様な連携でまちの教育力を高め
- ・第5章で学びを支える教育環境を設えるとししました。

2. 基本方針と具体的施策の変更新案

基本方向(章)	基本方針(節)	具体的施策
<p>1章 確かな学びを育む</p> <p>幼児教育から学校教育の連携・接続を強化するとともに、義務教育9年間を通じた阿見町の教育システムを構築することにより、子どもたちが将来に夢と希望をもち、その実現に向かって着実に進んでいけるよう資質・能力の育成に努めます。</p> <p>また、子どもたちの基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用する力を育成し、学習意欲の向上や言語活動の充実などにより、学びの確実な定着を目指した教育を推進します。</p> <p>さらに、教師が自らの授業を磨き、人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう学校の働き方改革に積極的に取り組むとともに、子どもたちの学力を支える教師の資質の向上やサポート体制の充実に努め、多様な学習支援を展開していきます。</p>	1-1 幼保小中連携の推進	1. 小中連携教育の推進 3. 幼児教育の支援 2. 幼保小連携の強化
	1-2 確かな学びの定着を目指した教育の推進	1. 基礎・基本の確実な習得と活用する力の育成 2. 学習意欲の向上 3. 言語活動の充実 4. 外国語教育の推進 5. 理数教育の充実
	1-3 教師力の向上のための支援やサポート体制の充実	1. 教員の資質向上 2. 多様な学習支援の充実 3. 学校の働き方改革の推進
<p>2章 豊かな心と健やかな体を育む</p> <p>一人一人の子どもたちの豊かな心と命を大切にすることを育むため、道徳教育の充実や町の地域性を生かした郷土教育や文化芸術活動、平和・命の教育を進めるとともに、社会性や豊かな人間性を育むための体験活動やボランティア活動の推進に努めます。</p> <p>また、健やかな体を育成するため、学校体育の充実による体力づくり、学校保健・健康教育による健康の増進、食育の推進と安全な学校給食を提供するとともに、地域と連携してスポーツを楽しむ機会の提供に努めます。</p> <p>いじめ・不登校・問題行動等に対しては、未然防止・早期発見に努めるとともに、子どもたちの置かれている様々な状況にきめ細かく対応できる生徒指導や相談体制の強化に努めます。</p> <p>特別支援教育については、支援を必要とする誰もが個々の教育的ニーズに応じた教育が受けられるよう、指導の工夫や充実に努めるとともに、就学から卒業までの切れ目ない支援を図ります。</p>	2-1 豊かな心と命を大切にする心を育む教育の充実	1. 道徳教育の充実 2. 郷土教育の推進 3. 文化・芸術活動の推進 4. 平和・命の教育の推進 5. 体験活動・ボランティア活動の推進
	2-2 健やかな体の育成	1. 学校体育の充実 2. 学校保健・健康教育 3. 食育の推進と安全な学校給食 4. 地域と連携した運動部活動の促進
	2-3 いじめや不登校、貧困など困難を抱える子どもへの支援体制の充実	1. 積極的な生徒指導 2. 相談体制の充実 3. 教育相談センター(やすらぎの園)の充実と活用
	2-4 自立と社会参加を目指す特別支援教育の推進	1. 個々の教育的ニーズに対応した指導の充実 2. 就学前からの支援充実と発達障害に対する理解促進

基本方向(章)	基本方針(節)	具体的施策
<p>3章 時代の変化に対応する能力を育む</p> <p>近年の教育を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などにより、社会全体で ICT 化が進展しました。教育分野においても教育や学習における ICT 環境の整備が進められたため、情報活用能力を育てる教育や情報モラル教育など、時代の変化に対応する能力を育む教育を推進します。また、誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会を目指す教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) を推進します。</p> <p>地域や地球規模の課題を自らの課題として考える社会の創り手の育成や、児童生徒が進路を主体的に選択する資質・能力を育むキャリア教育・職業教育の推進、社会を生き抜く力としての主権者教育・消費者教育の充実などにより、社会の変化に対応した教育を推進します。</p> <p>また、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す SDGs (Sustainable Development Goals) の考え方を踏まえ、誰もが差別されることなく平等に参画できる社会を目指した人権教育や男女平等教育、多文化教育などにより、一人一人の個性を尊重した教育を推進します。</p>	<p>3-1 時代の変化に対応した教育の推進 (教育・学校DXの推進)</p>	<p>1. 情報活用能力を育てる教育の充実(ICT の活用) 2. 教育 ICT 環境の整備 3. 学校情報化の推進(校務のデジタル化)</p>
	<p>3-2 社会の変化に対応した教育の推進</p>	<p>1. 環境教育の充実 2. キャリア教育・職業教育の推進 3. 主権者教育・消費者教育の充実</p>
	<p>3-3 多様性を育む教育の推進</p>	<p>1. 人権教育の推進 2. 男女共同参画社会の形成 3. 多文化共生の推進</p>
<p>4章 多様な連携でまちの教育力を高める</p> <p>社会全体での教育力の向上を目指し、地域コミュニティとの連携や地域住民との多様な交流、地域人材の積極的な活用、地域に向けた情報発信、学校教育への支援体制の充実などにより、地域と一体となった開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>また、家庭の教育力や地域の教育力の向上を目指し、乳幼児期からの切れ目のない支援の充実やPTAとの連携の強化を進めます。さらに、地域住民の手による青少年の健全な育成を推進します。</p>	<p>4-1 開かれた学校づくりの推進</p>	<p>1. 地域人材の積極的な活用 2. 地域に向けた情報の発信 3. 学校教育への支援体制の充実</p>
	<p>4-2 家庭・地域の教育力の醸成・向上</p>	<p>1. 乳幼児期からの家庭教育の支援 2. 子ども会育成会との連携 3. 青少年健全育成・体験活動</p>
<p>5章 学びを支える教育環境を設える</p> <p>安心で安全な教育環境を目指し、危機管理体制の強化や防犯対策、防災教育など環境づくりに努めるとともに、通学路の交通安全対策の強化を図ります。</p> <p>また、小・中学校の望ましい教育環境の検討を進めるとともに、新しい時代の教育環境を目指し、学校施設・設備の充実に努めます。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染対策として、学校・保護者と関係機関が一体となって感染防止に取り組みます。</p>	<p>5-1 安全・安心な教育環境の整備・強化</p>	<p>1. 危機管理体制の確立 2. 防災教育の強化 3. 防犯・交通安全対策の強化 4. 感染症対策の充実</p>
	<p>5-2 地域の実情にあった教育環境の充実</p>	<p>1. 小・中学校の望ましい教育環境の検討 2. 学校施設の維持管理 3. 学校施設・設備の充実</p>